

## 年頭所感

## 2010年を迎えて

### 国民の安心守るために

### 新政権へ医療政策提起

会長 会  
人 祥 澤 唐  
日本医師会



新年明けましておめでとございます。皆様にはお健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

昨春以降、わが国でも新型インフルエンザが猛威をふるい、いまだ沈静化していませんが、世界的にみまると、日本の対応は非常に的確であると評価されています。診療などにあたられている医療関係者の皆様には、改めて感謝する次第で

す。

昨年9月に鳩山民主党政権が発足しましたが、鳩山首相は「日本に暮らすすべての人々が誇りを持って生活を送れる新しい国家の形を提言していきたい」と強い意欲を示しました。しかし、長期にわたる医療費抑制政策により、医療の各分野は完膚なきまでに疲弊させられ、医療崩壊の状況を来しています。とりわけ専門医療の中核的担い手である病院勤務医師の負担は限界点を超えました。早急に有効な具体策を講じ、地域医療提供体制を再構築することが、国民の安心・安全確保にとって不可欠です。

わが国は、明治以来、産業・経済の振興を基礎に、ひたすら国力の増大に努めてきました。その結果、あらゆる分野で便宜この上ない生活環境を築くことができ、多くの人々は、経済発展こそが、明

日に向かって揺るぎない豊かな日常生活を約束するものと考えています。しかし、経済成長とともに蓄えられた膨大な資産を、グローバル化した市場の下、巧妙な投機的資金運用によって瞬時に膨大な利益を獲得できるが如き幻想が振りまかれました。リーマンショック、ドバイショックなど、世界を震撼させた出来事は、こうした市場原理主義によるマネーゲームの象徴的帰結ともいえます。

わが国のように資源が少ない、貿易・技術立国にとっては、精緻を極める生産技術の開発能力をもつ人材育成など、科学や教育への費用を惜しんではなりません。また、地球温暖化など環境悪化を防止する取り組み、とりわけ環境に配慮した農業・林業の振興など、自然との共生にも力を注ぐことが肝要です。

将来を展望しにくい今日の状況を切り

開くためには、われわれ医療関係者の積極的な行動が求められます。その立脚点こそ、わが国が世界に誇る、「いつでもどこでも、だれも」が普遍平等に医療を享受できる国民皆保険制度であり、これは国民的財産です。健康に不安を抱えたままでは快適な生活がおくれなればかりか、明日の見通しも立ちません。「国民の生命と健康を守る」という原点に立ち返り活動するとき、国民皆保険制度は一層輝きを増すことでしょう。

日本医師会では、昨年2月に「グラン・デザイン2009 国民の幸せを支える医療であるために」を、また10月には「日本医師会の提言・新政権に期待する」を示し、医療政策を提起しております。皆様におかれましては、深いご理解と格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ここに、本年が皆様にとりまして、一層女醫で躍進の年でありますよう衷心より祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

## 専門技術持つ職能集団

## 問われる芸術の重要性

日本歯科医師会会長  
大久保 満男



明けましておめでとございませう。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

貴誌に今年もまた年等所感を掲載させていただきますこと感謝申し上げます。

さて、昨年は、選挙による政権交代といふ、わが国の戦後の政治史に残る大きな出来事を体験いたしました。

ここ十年あまりの医療費抑制策が、わが国の医療を崩壊寸前にまで至らしめたことは、紛れも無い事実であります。い

やそれどころか、社会総体のシステムを市場という経済システムの中にすべて包含しようという乱暴な試みが続けられ、社会を維持する地域共同体をも崩壊寸前の状況に陥らせました。

そしてまた、「公」と「民」を繋ぐ大切な役割を果たす中間組織のあり方や存在意義を弱めるという大きな弊害をもたらしました。

医療団体としての組織も、そのうちのひとつであります。われわれ医師も歯科医師も、自らの専門職を持つ職能専門団体として、医療という公益的な営みはもとより、個人には不可能な組織的な公益活動をおして、「公」にかかわる役割を果たしてききました。

このような営みの中で、われわれは常に専門とは何かを問われてきたと思えます。専門家とは、通常は、ある特殊な技術を持つ者として定義されていますが、しかし私は技術だけが専門性を保証するという論理にどつしても納得できない何

## 年頭所感

## 2010年を迎えて

かを感じてきました。

平成19年の本誌の年頭所感にも紹介した、私の畏敬する友である世界的な演劇の演出家・鈴木忠志が、最近の対談で、「専門家を技術によって定義すると、もしも、その人が人間として不適合であっても、専門家ということになる。そうでなく、専門家とはその有する技術をもつて、どのよう社会に向き合い、また貢献できるかを問うものである。したがって専門家とは、精神のあり方を問うべきである」と述べています。

まさに至言であり、われわれも、自らの精神のあり方を常に自らに問う、そのよつな姿勢を持って、自らの専門家としての基本的な姿勢としなければならぬと思います。その意味で、芸術とはまさに、その精神のあり方を、文学や演劇や美術や音楽をとおして表現するもので

す。もちろん、残念ながら、表現の技術を考えるだけの自称芸術家が多すぎることは、大変大きな問題なのですが。

それは、芸術という言葉が近代になって創られたものであり、そしてその近代が「個」の確立という概念を基本にしているだけに、芸術を個人的な領域にとどめよつとする力が大きすぎるのが原因

なのだと思います。

グローバルな世界というほとんど幻想に近いものが、いかに人間という存在を大きく揺るがしているかを考えた時、人間のあり方を根源的に問う芸術という音みが、益々重要なものとして浮かびあがってくるであろうという、予言めいたものを記して、年頭の所感といたします。

明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、心新たに新年をお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。

さて、政権交代による政治手法の考え方の变化、また、景気後退による財政悪化を要因とする予算及び事業圧縮により、日本薬剤師会におきまして、調剤報酬改定等とさまざまな厳しい状況となっています。このよつな中、日本薬剤師会としましては

## 6年制実務実習の開始 将来への課題に取組み

日本薬剤師会 会長  
児玉 孝



どのような状況になりましても、薬剤師の将来への方向性を見失つことなく本年も新たな気持ちで取り組んでいく所存です。

そのような中、本年の主な課題は左記の通りと考えています。

薬学教育 6年制実務実習の開始  
公益法人制度改革の本格化 改正薬事法  
法経措置への対応 薬剤師の将来ビジョンの策定 仮称「日薬大会館」建設  
生涯学習システムの構築 診療報酬・介護報酬同時改定への対応 政局への対応等であります。

いずれも薬剤師、薬剤師会の将来に影響を及ぼす重要な課題と認識しています。多難ではありますが、2年3ヵ月後に薬学6年制の薬剤師が社会に出てくるまでに区切りをつけなければならないと考えています。

ただ、今一つ忘れてはならないのは、対国民、対マスコミ対応です。確かに個々の会員の大変な努力、関係者の協力によ

り、医薬分業は60%に、そして薬学教育6年制が実現しました。これらにより薬剤師職能を發揮する環境は確実に整備されてきていますが、肝心な患者さんの、国民の一層の理解、支持がなければ進みません。

こういつた観点から、読者並びに報道

## 「思いやりの心」を基本

### 人が人を支える社会保障

東京都医師会会長  
鈴木 聡 男



新年あけましておめでとございます。

日本医家芸術クラブの皆様には、「健康で新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。口頭は本会の運営に深

各社におかれましても、文字通り叱咤激励の上なお一層の御理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりにあたりまして本年も、皆様にとつてよき年となりますことを祈念申し上げます、会員から感謝の気持ちを込め新年の挨拶とさせていただきます。

いご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、「ご高承のとおり、昨年は政治・社会の面で、かつて経験したことのない大きな変動があり、新型インフルエンザの流行とワクチン接種の問題など、国や政府の対応に翻弄される事例も数多く見られました。

このような中、医療を本来あるべき姿にもつていくためには、患者様の治療に専念すると同時に、医師会から社会全体に情報を提供・発信し、都民から「医師会の医療提言こそが正しい」という認識を得ることが必要であります。

その一例として、昨年11月から始まり  
ました新型インフルエンザのワクチン接  
種が挙げられます。都民の不安解消と流  
行の抑制のために、小児のワクチン接種  
の優先順位を早めるとともに、また多く  
の接種希望者のために始めた集団接種は  
行政並びに都民と情報を共有した結果で  
あり、そして何よりも東京都医師会会員  
の皆様方との「連携」と「協力」により  
進められたものであります。

日本人の心の中には、伝統的に受け継  
がれてきた「思いやりの精神」が根付い  
ております。この日本人の美しい精神文  
化は、日本医家芸術クラブの先生方の各  
方面にわたるご活躍の中にも、脈々と生  
きてきております。

医療でも介護でも手助けが必要な人に  
「大丈夫ですか、お手伝いしましょう  
か。」と声を掛け合い、そして支え合っ

これが日本古来の「思いやりの心」です。  
そしてこれを基に、「人が人を支える」制  
度である「日本型の社会保障」は成り立  
っております。

東京都医師会は様々な活動の場面にお  
いて、この「思いやりの心」を基本に活  
動し、そして人が人を支える社会の拡充  
のために、日々邁進する所存であります。

都民が健康で文化的な生活を送るため  
には何をすべきか。私ども東京都医師  
会は、この大きな課題と常に向き合いな  
がら行動しておりますが、これもひとえ  
に日本医家芸術クラブの先生方のご支援  
とご協力があるからこそ、多くの医療に  
かかわる提言を行い、実行に移すことが  
出来るものと深く感謝しております。

本年も、地域医療、保健、福祉に幅広  
く取り組み、都民に生涯切れ目のない医  
療サービスが提供されるよう努力してま

まいりますので、日本医家芸術クラブの会  
員の皆様方におかれましても、倍旧のご  
支援、ご協力を切にお願い申し上げます。  
第2でありませう。

終わりに日本医家芸術クラブの限りな  
いご発展と各位のご清祥を祈念してご接  
拶とさせていただきます。



## 年頭所感

## 2010年を迎えて